

Columbia Pictures Presents a Playboy Production

Roman Polanski's
film of
MACBETH

starring Jon Finch · Francesca Annis · Martin Shaw
Screenplay by Roman Polanski and Kenneth Tynan
from the play by William Shakespeare
Executive Producer Hugh M. Hefner
Produced by Andrew Braunsberg
Directed by Roman Polanski
Music by The Third Ear Band Photographed in Todd-AO 35

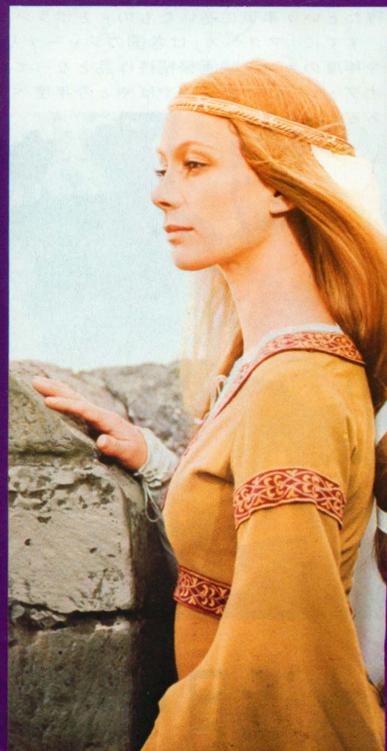


コロムビア映画 ● ブレイボーイ・プロダクション作品

マクベス

カラー作品 ● トッド・AO35方式

ジョン・フィンチ/フランセスカ・アニス
脚本 ロマン・ポランスキー
& ケネス・タイナン
原作 ウィリアム・シェイクスピア
製作指揮 ヒュー・M・ヘフナー
製作 アンドリュー・ブラウンズバーグ
監督 ロマン・ポランスキー
音楽 ザ・サード・イヤー・バンド



〈かいせつ〉

雑誌「プレイボーイ」のヒュー・ヘフナー社長が設立したプレイボーイ・プロダクションの第1回作品がこの「マクベス」である。監督はポーランド出身の異才、ロマン・ポランスキー。脚本を「オー／カルカット」を書いたケネス・タイナンと監督のポランスキーという異色のスタッフ。

以前から映画界進出を企てていたヒュー・ヘフナーが、プレイボーイ誌の常連寄稿者であり編集顧問でもあるケネス・タイナンにプロダクション設立をもちかけ、タイナンが友人のポランスキーを紹介。こうして「マクベス」が作られた。

主役のマクベスにはイギリスのTV界出身のジョン・フィンチ。映画はジョン・シュレジンジャー監督の「日曜は別れの時」に出演している。マクベス夫人にシェクスピア劇に多く登場し、「マロニエの別れ道」に出演したフランセスカ・アニスが扮している。2人ともイギリス人で、フィンチ30歳、アニス26歳という若い主役である。

助演者はオールド・ピク劇団のジョン・ストライド、ロイヤル・シェクスピア劇団のニコラス・セルビー、ロンドンの舞台・TVで活躍しているマーチン・ショー、テレンス・ペイラー、など。いずれも確実な演技者ばかり。

撮影はこれまで「反撥」「袋小路」でポランスキーとともに仕事してきたギル・テイラーが担当している。この映画はトッド・A・O方式で撮られていく。これはカメラと被写体との距離に関係なく、常にコンピューターで計算された一定の絞り比が保てる新方式の撮影方法である。従来のもより50%深度が広がるため、よりパノラミックな画面が得られる。

音楽をイギリスの人気ロック・グループ、ザ・サード・イアー・バンドが担当し、「マクベス」の妖しい雰囲気をもりあげている。

シェクスピアの「マクベス」はこれまで7か国で16回(台材をとったものを含め)映画化されているが、ポランスキーの「マクベス」はこれらのどの作品よりもユニークに完成されている。

ポランスキーが制作にあたり、もっとも神経を集中させた点は11世紀に生まれ、血なまぐさい世界に育った2人がぜいたくな野心から殺人を犯し、狂気の中に死ぬというまなましい人間像を描くことだった。

ポランスキーの「マクベス」には若く美しくそして人生経験の少ないマクベス夫妻が登場する。この要素が映画の中でより強い個性とペインソを生み出し、バイタリティーに満ちた「マクベス」をつくり上げているといえよう。

この映画にはショッキングな残酷描写の場面が登場するが、これに関してポランスキーは「見る人がわざとらしさを感じなければ成功したといえる。シェクスピアの作品には強烈な暴力的な要素がある。私はこれを避けたのでも、強調したのでもない。あの時代の中で公正に扱ったつもりだ」といっている。また「全裸の魔女たちと全裸のマクベス夫人が登場するので、プレイボーイ・プロダクションとケネス・タイナンの名から妙な推量をあたえるかもしれない。だが裸は真に必要、かつ効果的な場面のみであり、マクベス夫人が全裸で夢遊する場面も11世紀には女性は何もつけずに寝たという事実に基づいたもの」とポランスキーはその意図を説明している。

すでに「マクベス」は各国のジャーナリストから多大な賛辞をよせられ、今年度のカンヌ映画祭招待作品となっている。またナショナル・ボード・オブ・レビュー誌ははやばやと今年度ベスト・ワンの作品に選んだほどである。

ポランスキーの清新な感覚が シェクスピアの世界に 初めて挑む!

コロムビア映画・プレイボーイ・プロダクション作品

マクベス

カラー作品・トッド-AO35方式

若く、はつらつとした
マクベスの刺激的な生涯が
ポランスキーによって創造された!
この作品こそ20世紀最高の
映像芸術と断言する——
フランセス・ヘリッジ<ニューヨーク・ポスト>

●スタッフ

監督/ロマン・ポランスキー
製作/アンドリュウ・ブラウズバーグ
製作指揮/ヒュー・M・ヘフナー
脚本/ロマン・ポランスキー
ケネス・タイナン
音楽/ザ・サード・イアー・バンド
撮影/ギル・テイラー
プレイボーイ・プロダクション作品

●キャスト

マクベス/ジョン・フィンチ
マクベス夫人/フランセスカ・アニス
バンクオ/マーチン・ショー
ダンカン/ニコラス・セルビー
ロス/ジョン・ストライド
マルコム/ステファン・チェイス
ドナルド/ポール・シェリー
マクダフ/テレンス・ペイラー



★近日・話題のロードショー **みゆき座** (591)
5357